



納入した重量挙げ器材のデモンストレーションの様子（大統領視察）



パラグアイ スポーツ庁訓練センター器材整備計画

2016年6月～2018年11月

パラグアイでは、公園や公共施設等の不足、器材の未整備等から、国民がスポーツを行う環境が不足しています。パラグアイ政府は「国家開発計画 2014-2030」の中で「公共サービスの質の向上」を掲げ、同目標達成のため、「国や公共団体の連携の下、国民が広くスポーツができる環境と機会を整備し、国民の健康増進に寄与すること」を目指しています。特にスポーツ庁では、合理的かつ適切な練習を可能とし国家全体のスポーツ技術を向上すること、多くの国民にスポーツの機会を提供することを目的とし、全人口の3割以上が集中するアスンシオン大都市圏にスポーツの中核施設として「国立総合トレーニングセンター」を設立しました。しかしながら、同センターには老朽化した器材が多く、また必要な器材が十分整備されていませんでした。

本計画では、国際的な水準を満たす器材を整え、国民に広くスポーツを実施する機会を提供すると共に、国家開発計画を推進します。

～活動や目指す成果～

活動

国立総合トレーニングセンターに於いて6つの競技（柔道、空手、重量挙げ、体操、ボクシング、レスリング）の機材を整備します。

目指す成果

- ① 安全、安心で規格を満たした器材を使用した環境下で対象競技スポーツを行うことが可能となります。
- ② 国際規格を満たした器材を使用した練習により、対象競技スポーツの競技者の技術レベルの向上が可能となります。
- ③ 国際規格器材を使用し国際大会の開催が可能となります。
- ④ 国際大会開催、国際大会への競技者の出場や成績向上を通じ、当該スポーツ競技への関心が高まります。
- ⑤ 同センターに派遣されている青年海外協力隊員の活動とともに、日本の目に見える支援として親日感情の醸成が期待されます。特に、日本武道である柔道・空手器材整備により、日本文化発信効果も期待でき、友好関係が深まります。